

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

# 伊丹 冬 市議会 だより

itami February.8, 2023 vol. 246

## CONTENTS

vol.246の主な内容

P.2~5… 一般質問

P.6~7… 議案審査

P.7 …… 議決結果

P.8 …… 市議会からのお知らせ  
議長の活動報告  
会議の予定



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット  
たみまる

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。

(通信費は利用者負担になります。)



議場コンサート(イメージ)

## 議場コンサート

新しくなった議場では、伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団によるコンサートを開催します。その後、本会議で藤原市長の施政方針演説を予定しています。

2 / 20 月

午前10時~(約20分)

場所:市議会本会議場

受付:当日、直接市議会事務局(市役所3階)へ。先着順。

曲目:序曲「天国と地獄」ほか

# 一般質問

令和4年第5回定例会(12月2日～22日)では、20人の議員から市政全般にわたり、さまざまな質問がありました。その一部を紹介します。  
 なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。



市議会ホームページから3つの方法でご覧いただけます。

- ①会議録検索システム (2月下旬に掲載予定)
- ②本会議中継・録画配信
- ③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

伊丹市議会 検索

**こども医療費の所得制限撤廃を**  
 花田 康次郎 議員

**問** 子どもたちの命を守るため、最優先で行わなければならない施策であると考え、こども医療費助成の所得制限の撤廃について、見解を伺う。

**答** 本来は全国一律の助成制度を創設する必要があると考え、本市では以前より国に要望を行っている。現時点で実現のめどは立っていないが、引き続き、要望を実施していく。早期に所得制限をなくしてほしいなど保護者からの要望もあることから、この助成事業のニーズの高さは認識しており、持続可能な行財政運営を前提とする中で、子育て支援施策として近隣市の状況等も含め、改めて調査研究を行い、実施の可能性を検討していく。

**有機農業の現状と消費地としての支援**  
 高塚 伴子 議員

**問** 本市の有機農業の現状と消費地としての支援、学校給食における有機農産物の採用について伺う。

**答** 有機農業は、環境と調和のとれた農業生産を進める上で効果が高い重要な農法だが、本市では取り組まれている農業者はいない。また、農産物直売所「スマイル阪神」に近隣市の有機農産物販売コーナーがあり、消費地支援として、多くの方々にご利用いただけるよう情報発信に努めている。有機農産物は、学校給食を通じた食育にも大変効果があると認識しているが、安定した供給量確保や食材費などの課題解決が非常に難しく、引き続き、関係部署との連携の充実を図り、研究と情報共有に努める。

**園児の送迎バスにおける安全対策**  
 永松 敏彦 議員

**問** 国の安全対策の方向性が決まっていない中、本市では、こども発達支援センターの送迎バスによる置き去り防止システムの実証実験を行うとの報道があった。この実証実験を踏まえ、安全対策に対する見解を伺う。

**答** 今回の実験実施を通じて、より一層安全が確保されつつ、職員の負担が過重にならず、正しく運用できるシステム装置の実現について検証を進めていきたい。また、装置の活用は置き去りに対するチェック機能をより強化できるものと考えており、こうした装置を正しく運用することで、安全管理体制を確立し、保護者の方々にも安心していただけるよう取り組んでいく。

**紙おむつのサブスク<sup>\*</sup>導入～保護者や保育士の負担軽減～**  
 山藪 有理 議員

**問** 保育施設で発生した使用済み紙おむつの廃棄方法と、「紙おむつのサブスク導入」への見解を伺う。

**答** 令和4年10月に厚生労働省が実施した認可保育所における使用済みおむつの処分状況調査では、市内の私立園で「廃棄している」が23施設、「廃棄していない」が9施設、公立は、全施設で「廃棄している」であった。また、本サービスは保護者にとっては負担軽減のメリットがあることから、市内の私立園では、状況等に応じて導入の可否を検討していただき、公立では、他市の導入事例や保育現場の意見の聞き取り等を行い導入の可否を検討していく。  
<sup>\*</sup>サブスク(サブスクリプション)…定額料を支払うことで、必要な分の製品やサービスが利用できる仕組み

**乳幼児への新型コロナワクチン接種の必要性**  
 小西 彦治 議員

**問** 乳幼児に対する新型コロナワクチン接種が必要なのか、見解を伺う。

**答** 国は、現在の新型コロナウイルス感染症のまん延状況を踏まえ、乳幼児への接種機会の提供が望ましいことから予防接種法に基づく接種に位置づけ、乳幼児を対象にワクチン接種を進めるとされた。接種については、厚生労働大臣の指示のもと市町村が主体となり実施することとされており、各自治体で接種の要否は判断できないものと認識している。本市では、国の方針を踏まえ、接種体制の構築を進めており、接種は強制ではなく、保護者の意思に基づいて判断ができるよう案内している。

**教員の会計業務軽減を**  
 岸田 真佐人 議員

**問** 教員の行っている学校の会計業務を、学校事務補助職員の業務に加えることへの見解を伺う。

**答** 学校における会計業務については、教員が本来担うべき業務に影響を及ぼしており、特に、銀行に出向く必要がある入出金業務は、多くの時間を費やしているため、教員の働き方改革を進めていくうえで大きな課題の一つとなっている。市教育委員会としては、対策として、ネットバンキングに関する学校の取組について支援していきたいと考えている。今後も、子どもの学びに注力できる環境をつくるため、学校事務補助員の業務内容等のあり方について、引き続き検討を行い見直しを行う。

**統合新病院整備事業～2回目の入札不調を受け～**  
 高橋 有子 議員

**問** 当初の計画から総事業費が約1.5倍になりそうだが、①高度急性期病院が本市に必要なのか、いま一度、市民に問う必要があるのでは。②市民サービスが削られることはないかと約束できるのか。

**答** ①統合新病院の方向性を定めた基本方針は、市民説明会やシンポジウム、出前講座等を複数回実施し、市民からの意見を踏まえ策定しており、着実に進めることが市民の期待に応えるものと認識している。②市民サービスが低下しないよう、用途が特定されず、その時々に必要な事業に幅広く活用できる収益事業収入や、年度間負担を調整するため積立ててきた基金を最大限活用する予定である。

**市民サービスの民間業務委託**  
 大津留 求 議員

**問** 市民サービス業務を民間事業者などと委託契約を結ぶ際の委託金額の積算方法、ルールについて伺う。

**答** 委託契約については、市契約に関する規則に基づき、見積りの徴取等により調査した実勢価格や需給状況、当該業務の履行の難易度、数量の多少や履行期間の長短など種々の要素を総合的に考慮して事業担当課において適正な予定価格を算定している。この価格をもとに、契約者の選定に当たっては、競争性の発揮、公平性・透明性の確保を前提として一般競争入札や指名競争入札の実施、あるいはプロポーザル方式による業者選定の実施などにより、予定価格の範囲内で契約金額を決定している。



### 緊急小口資金等の「特例貸付」への対応

上原 秀樹 議員



**問** 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた方への支援として、生活資金を貸し付けていた緊急小口資金などの特例貸付の償還が令和5年1月から始まるに当たり、償還が困難な方への対応について伺う。

**答** これまで貸付利用者からの相談を待つだけではないアウトリーチ型の支援を市社会福祉協議会とともにに行い、就労支援や家計改善支援、無料食料支援など、必要な支援を実施してきた。今後は、継続的な相談のきっかけになるよう無料食料支援の実施回数を増加させる予定である。償還に係る相談をきっかけに生活状況の改善に繋げていくよう、丁寧な寄り添い型の支援を実施していく。



### ゾーン30\*整備事業

川井田 清香 議員



**問** 本市におけるゾーン30の整備状況は。また、特に通学路の交通安全対策の要望は多く、さらなる周知・整備が必要であると考えているが、見解を伺う。

**答** ゾーン30の導入が有効であると判断した7地区(広畑・寺本・中野東・北河原・梅ノ木御願塚・北野・鴻池)で順次整備し、整備地区や対策内容をホームページで紹介している。また、生活道路の安全対策に関する要望を伺い、面的な安全対策が効果的であると判断した場合は、ゾーン30の情報提供を引き続き行うとともに、警察等との連携を図りながら、さらなる安全性の向上に向けて検討していく。  
\*ゾーン30…最高速度を時速30キロメートルに規制する生活道路の安全対策



### 出産・子育て 応援交付金事業

竹村 和人 議員



**問** ①出産・子育て応援交付金事業実施についての見解は。②伴走型相談支援とは。

**答** ①妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を重要視し、実施に努めてきたが、本事業を実施することで、よりきめ細やかな支援につながると考える。②国の示す伴走型相談支援とは、妊娠時から出産・子育てまで一貫して、身近なところで相談に応じ、必要な支援につなぐことを目的とし、妊娠届出時や出生届の提出時等に妊婦・産婦等と出産や育児の見通しを立てるための面談を実施することとされている。本市が実施している支援は、国の伴走型支援と方向性は大きく変わらないと考えている。



### ICTの活用頻度による 教育格差

土井 秀勝 議員



**問** 今年度の全国学力・学習状況調査結果において、本市では、授業中のICT活用頻度が高いほど正答率も高くなる傾向が表れた。この教育格差に対する見解と対策は。

**答** 今年度は平均正答率とICT活用に相関関係が見られ、有効的な活用場面や使用時間の検証が各校で進んでいる。市教育委員会は、誰一人取り残さない取組を推進しており、継続して効果的なICT活用の研究が必要と考える。また、教員自身が有効性に気づき、意識を変えることが効果的な活用につながると考え、今後も活用方法や有効性を共有する場を設定しICT活用が進む授業改善を行い、全ての子どもたちの学力向上に取り組む。



### 中学校の 学習評価と学習評定

保田 憲司 議員



**問** 同一学区内であっても、各自治体により学習評定にばらつきがあると聞いている。同一学区内における評定の公平性は担保されるべきと考えるが、見解を伺う。

**答** 高校入試における仕組みとして、調査書の評定は「絶対評価」であり、合否判定は「相対評価」で合格者が決まっている。そのようなねじれ、木に竹を接ぐような仕組みが保護者の不安を生みだしている。抜本的には、県教育委員会が「一定の公平な入学選抜者のあり方」を検討する必要があると考えるが、まずは、教育長協議会等において、この議題を取り上げ、情報交換をしながら県教育委員会に何らかの対応をしていきたいと考えている。



### NPO・ボランティア団体 への寄附

佐竹 璃保 議員



**問** まちづくりプラザ作成の登録団体情報に、団体の活動内容や社会的意義、地域貢献への思いを記載することで、寄附者が寄附先の候補を選定しやすい仕組みが作られると考えるが、見解を伺う。

**答** 現在、登録団体を活動分野ごとにまとめた一覧表と、団体情報の概要をまとめた紹介カードを作成している。今後、これらに寄附先の情報を併せ、同プラザのホームページで閲覧できるようにするほか、SNSでの支援の呼びかけなど、広く市内外の支援者への情報発信に取り組む。加えて、寄附先の選定や手続方法をわかりやすくまとめた案内を作成するなど、周知・啓発に努める。



### 視覚に障がいのある子ども の就学前の支援と教育

山本 恭子 議員



**問** こども発達支援センター「あすばる」における視覚に障がいのある子どもに関する相談件数と、相談後どのように支援をされているのか、支援体制を伺う。

**答** 現在、市内在住の3名の視覚に障がいのある18歳までの子どもと、その家族への支援を行っている。「あすばる」においては、まず相談員が初期相談を行い、必要に応じて相談支援専門員によるアセスメントを行い、体験保育や児童発達支援事業をはじめとする療育へとつなげている。また、令和4年度からは保健師を1名増員し、保健センターをはじめ地域の様々な関係機関と、より連携を強化するための体制を整えたところである。



### 伊丹の経済状況と支援制度

杉 一 議員



**問** 市域内の経済状況と、市内状況を踏まえ、令和5年度予算で検討している支援制度について伺う。

**答** 市内企業の景気動向調査によると、令和4年7月～9月期における景気動向が「上昇」と答えた企業の割合は16.2%と、同年4月～6月期とほぼ同程度であったが、「横ばい」と答えた割合が61.9%と10ポイント以上増加し、「下降」と答えた割合が22.1%と10ポイント以上減少していることから、全体としては、回復傾向にあるものと認識している。また、令和5年度の当初予算においては現在の社会情勢を踏まえた予算編成を行いつつ、緊急の課題にも適時適切に対応するよう支援を検討する。



### こども医療費助成 ～所得制限の現状～

北原 速男 議員



**問** 本事業について、近隣各市の所得制限の現状及び所得制限をなくした場合の予算規模について伺う。

**答** 所得制限がない市は神戸市、尼崎市、三田市であり、西宮市は令和5年1月から制限がなくなる予定である。一方で、川西市(小学1年生～中学3年生)、芦屋市、宝塚市には所得制限がある。仮に、本市で中学生までの所得制限をなくした場合、追加助成に約2億6,000万円が必要となる。こども医療費助成の拡大については、安心して子どもを産み、育てる環境の充実に向けて取組を進める必要があり、持続可能な行財政運営を前提に、実施の可能性の検討を行う必要があると考える。



### 市営住宅の室内修繕

久村 真知子 議員



**問** 経年劣化による室内修繕は市が行うべきと考えるが見解は。また、退去時の畳の入れ替えや入居時に開ける部屋の修繕状況は。

**答** 市営住宅条例で、軽微・構造上重要でない部分と入居者の責めに帰すべき理由による場合を除き、市負担と規定しており、詳細は取扱要綱に定めている。なお、経年劣化による摩耗は、居住年数等により一様でないため個別対応とし、生活に支障をきたすと判断したものについては市が修繕している。また、故意、過失による損傷等を除き、退去時に畳に関する費用は求めず、入居時には、市負担による空家修繕を行っている。



### (仮称)伊丹交流センターの あり方

齊藤 真治 議員



**問** (仮称)伊丹交流センターの管理運営は、限られたマンパワーの中で行わなければならない。バランスの取れた同施設の管理のあり方について見解を伺う。

**答** 地域活動の担い手不足に悩まされている中、地域活動の拠点となる施設の今後の運営は、デジタル機器等により効率化し、管理者の負担軽減を図るとともに利用者の利便性向上を図ることが重要である。一方、デジタル機器を活用しつつも、対面による従前の利用方法を残すことも必要と考える。今後、管理運営委員会により、利用規約や予約方法、日常の施設管理方法等について、集約前の5施設の管理運営方法を参考に検討される予定である。



### 高等学校への入学準備支援

鈴木 久美子 議員



**問** 家庭の経済的事情により、子どもたちが高校進学を諦めてしまうことがないよう、高等学校への進学準備支援を実施すべきと考えるが、見解は。

**答** 中学3年生の生徒がいる家庭の負担が大きいことは承知しているが、義務教育ではない高等学校への進学に必要な費用は、個々の生徒によって、その進学先や受験校数なども異なるため、入学前の一律の支援は難しい。入学後、所得制限はあるものの、授業料支援である「高等学校等就学支援金」や、授業料以外の教育費支援である「高等学校等奨学給付金」を活用することにより、経済的負担の軽減を図っていただくものと考えている。

・一般質問の発言順で掲載しています。

# 議案審査

令和4年第5回定例会では、**議案は32件**でした。  
 ここでは、全議案と、これらの議案が付託された3つの委員会の内容をご紹介します。  
 なお、議案名の横に**A~H**とあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。



# 議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。  
 第5回定例会の**議案32件**のうち**30件**は**可決**されましたが、**請願2件**は**不採択**となりました。

**可決** 議案 28件  
 意見書 2件

**不採択** 請願 2件

## 総務政策常任委員会

○令和4年度 一般会計補正予算(第8号)

**2億7,017万5千円を追加補正**

- ・市民生活や経済活動を支える市内の公共交通事業者(バス・タクシー事業者)を対象に、燃料価格高騰に対する支援が行われます。
- ・物価高騰等の影響を受けている保育施設等に対して、光熱費や食料費等の価格上昇分に対する支援が行われます。
- ・公共施設等における電気・ガス料金、燃料費等の不足分の経費が措置されました。

○令和4年度 一般会計補正予算(第10号)

**急遽、2億1,669万4千円を追加補正**

- 出産・子育て応援交付金事業**  
 妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援が一体的に実施されます。
- ◆伴走型相談支援  
 安心して出産・子育てができるよう、妊娠届出時、妊娠8ヶ月前後、出生届出時等に面談やアンケートが実施され、妊婦・子育て家庭が必要とする支援につなげられます。
  - ◆出産・子育て応援金  
 給付額 各5万円(現金給付)  
 ※令和5年1月より順次給付されています。
  - ・出産応援金 対象者:令和4年4月1日以降に出産された方および妊娠届を出された方
  - ・子育て応援金 対象者:令和4年4月1日以降に出産された方

- その他の議案**
- 個人情報の保護に関する法律施行条例の制定 **A**
  - 情報公開・個人情報保護審査会設置条例の一部改正 **B**
  - 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定
  - 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正
  - 令和4年度 一般会計補正予算(第9号)
  - 令和4年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
  - 令和4年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算
  - 令和4年度 介護保険事業特別会計補正予算

## 文教福祉常任委員会

- 阪神北広域こども急病センターの指定管理者の指定
- 北部学習センター及び図書館北分館の指定管理者の指定 **C**
- 丹波少年自然の家事務組合規約の変更に係る協議
- 教育予算を増額し、ゆきとどいた教育を求める請願書 **D**
- 学校給食に関する請願 **E**

## 都市企業常任委員会

○令和4年度 病院事業会計補正予算(第4号) **F**

**73億1,383万3千円を追加補正**

統合新病院の建設において、物価上昇による建築資材費の高騰等により2回目の入札不調になったため、工事費を見直し、令和4年度中の契約、令和8年8月頃の開院を目指して、早期に建設工事に着手されます。

- その他の議案**
- 令和4年度 病院事業会計補正予算(第3号)
  - 令和4年度 水道事業会計補正予算
  - 令和4年度 工業用水道事業会計補正予算
  - 令和4年度 下水道事業会計補正予算
  - 令和4年度 交通事業会計補正予算
  - 令和4年度 モーターボート競走事業会計補正予算
  - 共同利用施設等条例の一部改正
  - 男女共同参画センターの指定管理者の指定 **G**
  - 労働福祉会館等の指定管理者の指定 **H**
  - 産業振興センターの指定管理者の指定
  - 市道路線の認定

## 委員会付託なし

- 旧博物館解体工事の請負契約
- 市営天神川団地3・5号館耐震補強他工事の請負契約の一部変更契約
- 市営玉田団地6・9号館エレベーター設置工事の請負契約の一部変更契約
- 知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書
- 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

## 賛否の分かれた議案

- A** 個人情報の保護に関する法律施行条例の制定
- B** 情報公開・個人情報保護審査会設置条例の一部改正
- C** 北部学習センター及び図書館北分館の指定管理者の指定
- D** 教育予算を増額し、ゆきとどいた教育を求める請願書
- E** 学校給食に関する請願
- F** 令和4年度 病院事業会計補正予算(第4号)
- G** 男女共同参画センターの指定管理者の指定
- H** 労働福祉会館等の指定管理者の指定

会派名 議員名	A	B	C	D	E	F	G	H
<b>新政会</b>	可決	可決	可決	不採択	不採択	可決	可決	可決
加藤 光博 (議長)	—	—	—	—	—	—	—	—
高塚 伴子	○	○	○	×	×	○	○	○
杉 一	○	○	○	×	×	○	○	○
戸田 龍起	○	○	○	×	×	○	○	○
土井 秀勝	○	○	○	×	×	○	○	○
花田康次郎	○	○	○	×	×	○	○	○
<b>公明党</b>								
北原 速男	○	○	○	×	×	○	○	○
山本 恭子	○	○	○	×	×	○	○	○
篠原 光宏 (副議長)	○	○	○	×	×	○	○	○
竹村 和人	○	○	○	×	×	○	○	○
里見 孝枝	○	○	○	×	×	○	○	○
永松 敏彦	○	○	○	×	×	○	○	○
<b>フォーラム伊丹</b>								
保田 憲司	○	○	○	○	○	○	○	○
山藪 有理 (監査委員)	○	○	○	○	○	○	○	○
大津留 求	○	○	○	○	○	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○	○	○	○	○	○
高橋 有子	○	○	○	○	○	×	○	○
<b>創政会</b>								
新内竜一郎	○	○	○	×	×	○	○	○
佐藤 良憲	○	○	○	×	×	○	○	○
川井田清香	○	○	○	×	×	○	○	○
鈴木久美子	○	○	○	×	×	○	○	○
<b>日本共産党伊丹市議会議員団</b>								
上原 秀樹	×	×	×	○	○	○	×	×
久村真知子	×	×	×	○	○	○	×	×
<b>伊丹維新・無所属の会</b>								
齊藤 真治				欠席				
佐竹 璃保	○	○	○	○	×	○	○	○
<b>会派に属さない議員</b>								
小西 彦治	○	○	○	○	○	○	○	○

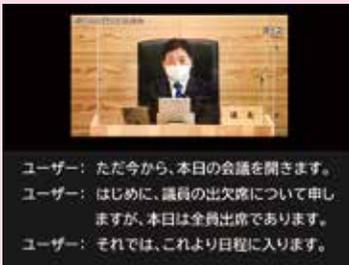
○…賛成 ×…反対 —…議長は表決に加わりません。

新しい議場へ傍聴にお越しく下さい

新しい議場では、お子様連れで傍聴ができる親子傍聴席(①4席)や、車いすをご利用の方が傍聴できる車いす席(②6席)を設置するとともに、AIによる文字表示モニター(③)や磁気ループ(④)を設置しました。傍聴をご希望の方は、市役所3階市議会事務局までお越しください。先着順となります。



議場の傍聴席



AIによる文字表示(イメージ)

議事内容をご確認いただけるよう、傍聴席のモニター(③)で音声認識システムによる文字表示を行っています。

議員の辞職について

佐竹璃保議員は、令和4年12月26日付けで辞職されました。

アプリ「マチイロ」で伊丹市議会だよりをご覧頂けます



※アプリのダウンロード・利用は無料ですが、通信費は利用者負担になります。また、アプリの管理は運営会社によるものです。

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。

希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター(アイ愛センター)へお申し込みください。

☎072-772-0221 ☎072-780-2897

議長の活動報告

議長は、伊丹市議会を代表して広域的な会議などへの出席や、様々な行政課題の解決に向け取り組んでいます。(副議長が議長に代わって職務を行うこともあります。)ここでは、その一部を紹介します。

阪神市議会議長会「知事との懇談会」

令和4年11月14日に、阪神市議会議長会「知事との懇談会」が開催され、加藤光博議長が出席しました。

今回の懇談会では本市議会から、市立伊丹病院の統合再編に係る財政支援として、「病院事業債(特別分)にかかる交付税単価の引き上げ」「医療機関再編統合等推進事業補助金補助基準額の引き上げ」について、要望を行いました。



加藤議長(後列左から3人目)、齋藤兵庫県知事(前列左から3人目)

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/5	6	7	8	9	10	11
				議会運営委員会		
12	13	14	15	16	17	18
		第1回定例会 本会議招集日 議員総会			議会運営委員会 本会議第2日 (議案質疑)	
19	20	21	22	23	24	25
	本会議第3日	総務政策 常任委員会	文教福祉 常任委員会		都市企業 常任委員会	
26	27	28	3/1	2	3	4
		本会議第4日 (代表質問)	本会議第5日 (代表質問) (個人質問)	本会議第6日 (個人質問)	本会議第7日 (個人質問)	
5	6	7	8	9	10	11
	議会運営委員会 本会議第8日 (個人質問)		予算等審査 特別委員会	予算等審査 特別委員会	予算等審査 特別委員会	
12	13	14	15	16	17	18
	予算等審査 特別委員会	予算等審査 特別委員会	予算等審査 特別委員会			
19	20	21	22	23	24	25
	予算等審査 特別委員会				議会運営委員会 本会議最終日 議員総会	

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

「伊丹市議会だより」編集発行：伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所3階)

☎072-780-4090 ☎072-784-8092 http://www.city.itami.lg.jp/

伊丹市議会だよりは86,000部作成し、印刷費は1部あたり7.15円です。